

省エネ関係補助金に係る令和元年度補正予算案、 令和2年度当初予算案が閣議決定されました

1

令和元年度補正予算案、平成2年度当初予算案が閣議決定され、省エネ効果の高い設備に更新・改修する際の補助金も計上されました。主な補助金を、以下に紹介しますので、補助金を活用した省エネ設備への更新・改修について、ぜひご検討ください！

令和1補正

【経産省】「生産設備におけるエネルギー使用合理化等事業者支援事業費補助金」

1. 内容

- レーザー加工機や射出成形機など、生産性及び省エネ性能の高い生産設備への更新を支援

2. RO1年度補正予算案額 50.0億円

令和1補正＋ 令和2

【環境省】「脱フロン・低炭素社会の早期実現のための省エネ型自然冷媒機器導入加速化事業」

1. 内容

- 冷凍冷蔵倉庫、食品製造工場、食品小売店舗における省エネ型自然冷媒設備の導入を支援

2. RO1年度補正予算案額 3.0億円

RO2年度当初予算案額 73.0億円 (RO1年度当初予算額 75.0億円)

令和2

【経産省】「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金」 ～省エネルギー設備への入れ替え支援～

1. 内容

既存設備について、省エネ効果の高い設備への更新を支援

- 「工場・事業場単位」…対象設備の限定なし。エネマネ事業者の活用による効果的な省エネも支援
- 「設備単位」…申請手続きが簡易。対象設備の種類は限定。設備費のみ支援対象

2. RO2年度当初予算案額 459.5億円 (RO1年度当初予算額 551.8億円)

※予算額案には、ZEH・ZEB・次世代省エネ建材の導入支援を含む

令和2

【環境省】「CO2削減ポテンシャル診断推進事業」

1. 内容

- 事業所のエネルギー使用量を計測等により正確に把握し、CO2排出量やエネルギー使用量の削減対策を提案するCO2削減ポテンシャル診断の実施について支援
- CO2削減ポテンシャル診断に基づいた対策の実施に要する経費の一部を支援

※本事業には、CO2削減ポテンシャル診断の結果を活用した新たな削減対策技術の検討を含む

2. RO2年度当初予算案額 15.0億円 (RO1年度当初予算額 20.0億円)

令和2

【環境省】「設備の高効率化改修支援事業」

1. 内容

- 設備の部品交換・追加により、低コストでCO2排出量を削減するための設備改善への支援

2. RO2年度当初予算案額 7.16億円 (RO1年度当初予算額 11.0億円)

令和2

【環境省】「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」

1. 内容

- 避難施設、防災拠点、物資供給拠点等に、再生可能エネルギー設備、未利用エネルギー活用設備、コージェネレーション活用設備及び蓄電池等を導入する事業への支援

2. RO2年度当初予算案額 116.0億円 (RO1年度当初予算額 34.0億円)

※上記以外にも、補助金はございます。詳細は、下記ホームページをご覧ください。

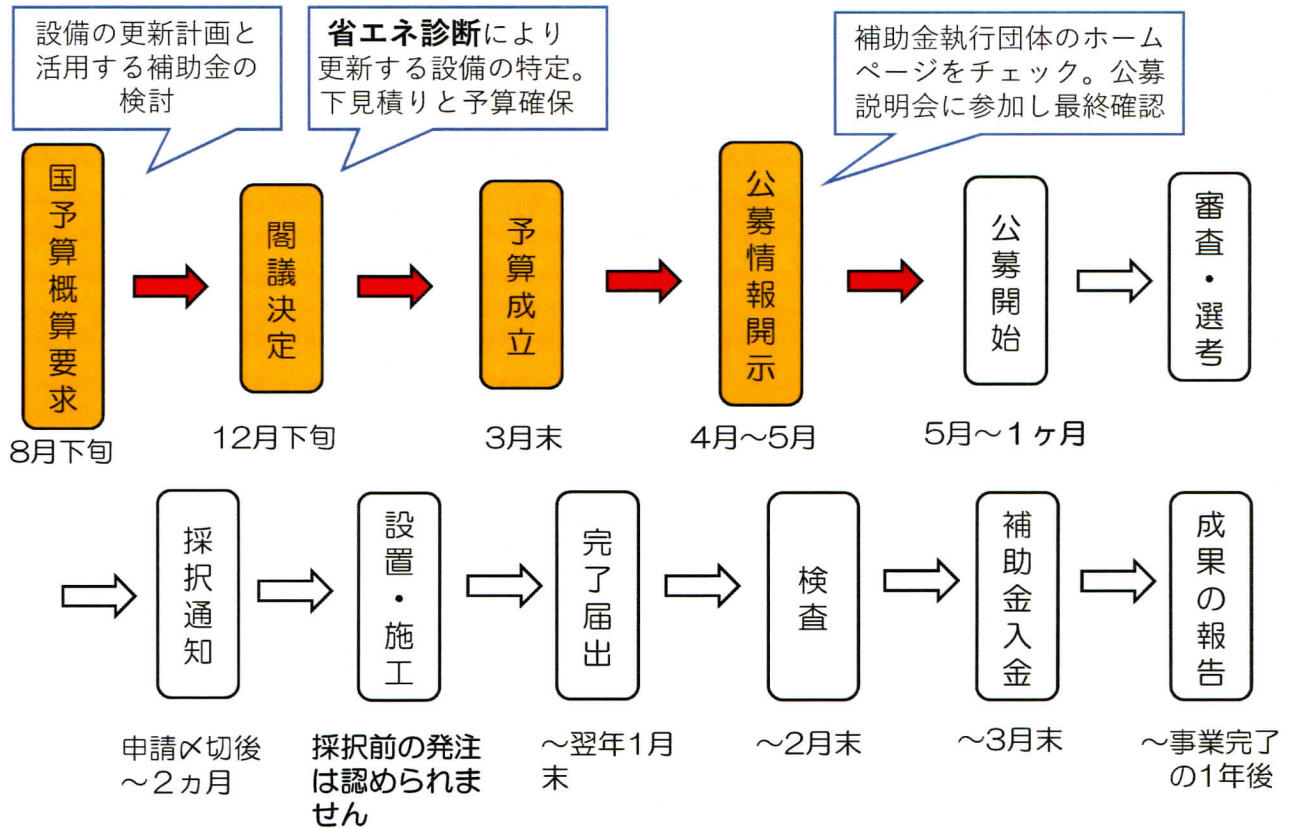
おおさかスマートエネルギーセンター国の予算情報ホームページ<http://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/sec/yosan-r2.html>

国の補助金の活用を検討してみませんか?
 経済産業省や環境省などが、徹底した省エネ、温室効果ガス削減のため、省エネ関連の補助金制度を実施しています。

●国の補助金とは?

- ・申請できる時期が限られる(年度初めに募集されることが多い)
- ・費用に対して一定の割合が補助される(3分の1等)
- ・交付されるとは限らない(申請内容の審査、抽選、先着順、等)
- ・申請にあたって条件がある(省エネ率、施策への協力、等)
- ・交付決定まで事業実施(発注・契約)できない
- ・財産の処分が制限される(一定期間は廃棄・売却等できない)
- ・規程に違反した場合、補助金の返還を求められることがある

●補助金申請の流れ(例)



※主な国補助金(省エネ関係)(R01補正・R02予算案)については、表面を参照ください。

国補助金情報についてお聞きになりたい場合、その他、創エネ・省エネ・節電等に関するご相談は...

<お問合せ先>

おおさかスマートエネルギーセンター
 (大阪府環境農林水産部エネルギー政策課内)
 ■TEL: 06-6210-9254 (直通) ■FAX: 06-6210-9259



(令和2年1月6日作成)

「令和元年度エネルギー使用合理化シンポジウム in 関西」が
開催されます！

経済産業省 近畿経済産業局主催

「令和元年度エネルギー使用合理化シンポジウム in 関西」が、次のとおり開催
されます。

日時：令和2年2月25日（火） 13:00～17:30

場所：グランキューブ大阪 10階（会議室 1001～1003）

内容：①基調講演

「Smart City with Internet-by-Design

～節電対策を攻めの投資とする～」

②施策説明「省エネルギー政策の動向」

③事例発表：アストラゼネカ株式会社

グンゼエンジニアリング株式会社

ダイキン工業株式会社

日本電産株式会社

（50音順）

詳細及び参加申込みは、こちらから

<https://e-gorika.go.jp/>

チラシは、こちらから

<https://www.kansai.meti.go.jp/3->

[9enetai/energypolicy/details/save_ene/energysympo2020_fin.pdf](https://www.kansai.meti.go.jp/3-9enetai/energypolicy/details/save_ene/energysympo2020_fin.pdf)